

令和8年度（2026年度） 総合型選抜学生募集要項

【インターネットを利用した出願です】

【 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない） 】

＜経済学部・理工学部＞

出 願 期 間	令和7年（2025年）9月1日（月）～ 9月5日（金）
試 験 日	令和7年（2025年）9月24日（水）
合格者発表	令和7年（2025年）11月4日（火）

【 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す） 】

＜教育学部(初等中等教育コース)＞

出 願 期 間	令和7年（2025年）11月4日（火）～ 11月7日（金）
試 験 日	令和7年（2025年）11月22日（土）
合格者発表	令和8年（2026年）2月10日（火）

＜福祉健康科学部(理学療法コース、心理学コース)＞

出 願 期 間	令和7年（2025年）10月6日（月）～ 10月10日（金）
試 験 日	令和7年（2025年）11月19日（水）
合格者発表	令和8年（2026年）2月10日（火）

不測の事態により、学生募集要項どおりに試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合は、試験の延期等の対応をとることがあります。

対応については、本学ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

大分大学ホームページ <https://www.oita-u.ac.jp/index.html>



令和7年（2025年）7月

令和 8 年度（2026 年度）総合型選抜における主な変更点

【理工学部】

- 総合型選抜において、2 段階選抜を廃止します。

選抜方法等

選抜方法等の詳細は、25 ページを参照してください。

目 次

ページ

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	3
1. 総合型選抜募集人員	20
2. 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	21
＜経済学部＞	
① 出願資格	21
② 選抜方法、試験日等	21
＜理工学部＞	
① 出願資格	23
② 試験日等	24
③ 選抜方法等	25
3. 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	26
＜教育学部＞	
① 出願資格	27
② 試験日等	27
③ 選抜方法等	27
＜福祉健康科学部＞	
① 出願資格	32
② 試験日等	32
③ 選抜方法	33
4. 出願期間及び出願手続	36
5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）	39
6. 個人情報の取扱い	39
7. 障がいのある者等の事前相談	40
8. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮	40
9. 受験に際しての注意事項	40
10. 試験場	41
○ 大分大学位置図	41
○ 旦野原キャンパス案内図	42
11. 不正行為の取扱い	42
12. 合格者発表	43
13. 入学手続等	44
14. 一般選抜への出願	45
15. 入学試験個人成績の開示	45
16. その他	46
17. 大分大学学生寮のご案内（予告）	47

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の 9:00～20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日の 9:00～17:00) E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では教科・科目に係る個別テストとグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜（初等中等教育コース）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・学校推薦型選抜（特別支援教育コース）

特別支援教育の担い手に必要な資質・能力をみるため、小論文、個人面接及びグループディスカッションを課しています（大学入学共通テストは課していません）。小論文、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科〈音楽、美術、保健体育、技術、家庭〉の試験を課しています。大学入学共通テストは所定の5つの区分から任意の3つを選択し、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		検査項目	学力の3要素			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科・科目に係る個別テスト	○	○			
		グループディスカッション（調査書）		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション（調査書）		○	○	○	○
学校推薦型選抜（初等中等教育コース）	大学入学共通テスト		○	○			
	個人面接 グループディスカッション（調査書） （志望理由書） （推薦書）			○	○	○	○
学校推薦型選抜（特別支援教育コース）	小論文		○	○			
	個人面接 グループディスカッション（調査書） （志望理由書） （推薦書）		○	○	○	○	○
総合型選抜	大学入学共通テスト		○	○			
	教科の試験		○	○		○	
	個人面接（調査書） （自己推薦書） （活動報告書）			○	○	○	○

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜（初等中等教育コース）において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。学校推薦型選抜（特別支援教育コース）においては、高等学校等において学習する教科・科目の試験を課していませんが、これらの教科・科目を大学入学までに十分理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
 なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数 学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理 科：理科の各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、科学的に思考する能力を身につける必要があります。また、科学的な法則を単に知識として暗記するのではなく、どのような過程で導き出されたか探究的に学ぼうとする姿勢が大切です。
なお、修得しておくべき科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の中から3科目以上です。

外国語（英 語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情 報：情報と情報技術に関する基礎的な知識や技能、活用方法を身につけていることが必要です。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を修得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を持っていることが求められます。

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

1. 本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。
2. こうした人たちが、高度化・複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。
3. この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

1. 経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人
2. 自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人
3. 現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人
4. 責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人
5. 知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）
- ・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う6次産業、NP0・NGOなどを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

- ・公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生
- ・公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP（International Business Perspectives）コース】

- ・国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生
- ・地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

- ・企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生
- ・簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

- ・身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生
- ・そうした課題に対して、多様な形で関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

- ・持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生
- ・そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

- ・地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科6科目とし、個別検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

- ・総合型選抜

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は２段階選抜で、第１次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第２次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は２段階選抜で、第１次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第２次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

- ・帰国生徒選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・社会人選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から１教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- ・第３年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科・科目に係る個別テスト	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜		小論文	○	○		○	
		面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○
		調査書	○		○	○	
		志望理由書		○	○	○	○
		推薦書	○		○	○	○
総合型選抜		小論文	○	○		○	
		面接	◎	○	◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
		志望理由書		○	○	○	○
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
		調査書	○		○	○	

◎は、特に重視する

☆は、加点点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

情報：情報を科学的に理解することに加え、情報の主体的な活用への関心が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<DX人材育成基盤プログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、新しい付加価値の創造を主導でき、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）及び面接により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。面接は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、D X人材育成基盤プログラム及び知能機械システムプログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSH プログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、D X人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、D X人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分			学力の3要素			求める資質・能力				
			知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 協働力	数学・理 科の基 礎学力	知的好奇 心・志望 分野の課 題への興 味・意 欲・関 心・ねば り強さ	自立的に 考え、かつ 他者と協 同して取 り組む姿 勢	リーダーシ ップと行動 力を発揮す る意志	
一般選抜	前期 日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		教科・科目に係る 個別テスト（数・理）	○	◎		◎				
		特色加点			☆		☆	☆	☆	
	後期 日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		面接（口頭試問を含む）	○	◎	○	○	◎	○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	女子 一般推薦	基礎能力試験	◎	○		○				
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
	サイ エンス 推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎		
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
学校推薦型選抜Ⅱ	女子 一般推薦	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		小論文	○	◎			○			
		面接	○	◎	○		◎	○	○	
		調査書	○				○	○	○	
総合型選抜		面接（筆記試験・小論文・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		自己推薦書		○			○			
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○	○
		調査書	○				○	○	○	○
その他	帰国 生徒 選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○	○
	私費 外国人 留学生 選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○	○
	第3年次 編入学 試験	面接（筆記試験・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		提出書類	○	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解することが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情報：情報科学・情報技術に関する基礎的な理解力を身につけ、科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う意欲を持ち、情報社会に主体的に参画するための資質・能力が必要です。

大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー：AP）

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

- ・大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- ・福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
- ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
- ・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
- ・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
〈理学療法コース〉
- ・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人
〈社会福祉実践コース〉
- ・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人
〈心理学コース〉
- ・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミSSION・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多元的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

- ・一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課します。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

・学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多元的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケーション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

・総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、コースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の3要素			本学部が求める力		
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働力	地域や現 代社会へ の関心	意欲 積極性	コミュニ ケーショ ン力・リー ダーシッ プ
一般選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
	後期 日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
学校推薦型 選抜		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
総合型選抜		大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		個別面接		○	◎	○	◎	◎
		グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望まれます。

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化です。
- 地理歴史・公民**：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。
- 数学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。
- 理科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。
- 外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。
- 情報**：情報社会における個人の役割や責任を理解するとともに、さまざまな事象を情報との結びつきから捉え、情報技術を活用しながら、問題の発見・解決に取り組むための基礎的な能力を修得する必要があります。
なお、修得しておくべき科目は情報Ⅰです。

1. 総合型選抜募集人員

【総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】

学部	学 科 ・ プ ロ グ ラ ム		募 集 人 員
経 済 学 部	総合経済学科		英語資格 5 簿記資格 1 5 課題探究 1 0
	計		3 0
理 工 学 部 ※	理 工 学 科	知能情報システムプログラム	5
		D X人材育成基盤プログラム	7
		電気エネルギー・電子工学プログラム	2
		機械工学プログラム	5
		知能機械システムプログラム	1
		地域環境科学プログラム	2
		建築学プログラム	4
	計		2 6
合 計		5 6	

※出身学校の課程・学科、履修科目と希望プログラムが整合しているかどうか疑問の場合は、事前に学生支援部入試課に申し出てください。

【総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】

学部	課 程 ・ 学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	10名：「教科の試験」の各教科〔音楽、美術、保健体育、技術、家庭〕の選択者から、それぞれ2名程度
	計		10
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース	5
		心理学コース	8
	計		13
合 計			23

【注】総合型選抜の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜で補充することがあります。

2. 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

＜経済学部＞

① 出願資格

次の各号に該当する者

- （１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和８年（２０２６年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（２０２５年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）で、調査書の履修科目全体の学習成績の状況が**3.5以上**の者
- （２）**合格した場合は、入学することを確約できる者**
- （３）次表に掲げる要件を満たす者

学部	学 科	募集区分	出 願 要 件
経済学部	総合経済学科	英語資格	次のいずれかの資格を有する者 ①実用英語技能検定（英検）２級以上 ②TOEIC スコア 480 点以上 ③GTEC スコア 930 点以上（本出願時に有効なオフィシャルスコアに限る）
		簿記資格	日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）２級以上の資格を有する者
		課題探究	次のいずれかの資格を有する者 ①高等学校等の総合的な探究（学習）の時間（課題研究等を含む。）等での課題探究型学習の経験者 ②大学（本学又は他大学）による高校生対象の課題探究型学習の経験者 ③課題探究型学習成果コンテストの経験者※ ¹ ④上記①②③のほか、高等学校等での課題探究型学習の経験者※ ²

※１ ③の成果コンテストの事例として、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」（日本政策金融公庫）、「全国高等学校生徒商業研究発表大会」（全国商業高等学校協会）、「高校生なるほどアイデアコンテスト」（大分大学経済学部）などの各種団体や大学が主催するコンテストがあります。

※２ 課題探究型学習の出願資格についてのお問合せは、下記アドレス宛にメールにてお願いいたします。
大分大学学生支援部入試課 nyukikak@oita-u.ac.jp

② 選抜方法、試験日等

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は２段階選抜とします。

（１）第１次選考

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物により選抜します。

※選考結果については、通知書を本人宛に**令和７年（２０２５年）９月１８日（木）**に発送します。

※第１次選考の合格者数は、募集人員の３倍程度とします。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

試験日：令和7年（2025年）9月24日（水）

試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
小論文	10：00～12：00	9：30に経済学部棟玄関前に集合
個人面接	13：00～17：00	

【注1】遅刻による試験室への入室限度時刻は、小論文は試験開始後20分、個人面接は試験開始時刻までです。

【注2】面接の終了時刻は、最終面接者の終了予定時刻であり、変更することがあります。受験者は各自の面接が終了次第、解散となります。

試験の配点は下記のとおりです。

小論文	個人面接
50点	50点

【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、取得資格に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉強意欲等について評価します。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。なお、英語資格の個人面接では英語での質疑応答の時間があります。簿記資格の個人面接では出願時に提出した「経済社会の諸問題について」を用いてその内容を5分で発表してもらった後、発表内容及び提出書類も参考にして質疑応答を行います。

※面接室には資料等一切持ち込めません。簿記資格の面接室には受験者用に「経済社会の諸問題について」を配置します。

【課題探究型学習に基づく選抜制度】

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、課題探究型学習に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉強意欲等について評価します。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的に学習に取り組む態度を評価します。

なお、個人面接では、出願時に提出した「課題探究型学習の成果について」（書式B）のみを用いて学習の内容を5分で発表してもらった後、その内容及び提出書類も参考にして質疑応答を行います。

※面接室には資料等一切持ち込めません。面接室には受験者用に「課題探究型学習の成果について」（書式B）を配置します。

事前の説明会・相談会

総合型選抜に関する事前の説明会・相談会を次のとおり開催します。

開催日時 令和7年（2025年）7月19日（土）14：00～15：00

場 所 大分大学経済学部101号教室

<理工学部>

① 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を令和8年(2026年)3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和7年(2025年)4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。)
- (2) **合格した場合は、入学することを確約できる者**
- (3) 次表に掲げる要件を満たす者

学部	学 科 等	出 願 要 件
理 工 学 部	知能情報システムプログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した(見込みを含む)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者
	D X人材育成基盤プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した(見込みを含む)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者
	電気エネルギー・電子工学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の電気又は電子に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した(見込みを含む)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者、又は特に物理が優秀な者
	機械工学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した(見込みを含む)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者
	知能機械システムプログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の機械系、電気系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、機械、電気に関する教科・科目を20単位以上修得した(見込みを含む)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者

	地域環境科学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の環境系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、環境又は土木に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A 段階 に属する者
	建築学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の建築系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、建築又は土木に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A 段階 に属する者

② 試験日等

試験日：令和 7 年（2025 年）9 月 24 日（水）

プログラム	試験時間	試験項目	集合時刻及び集合場所
知能情報システムプログラム	9：00～10：00	筆記試験	8：30 に理工学部第1講義棟学生ラウンジ前に集合
DX 人材育成基盤プログラム	10：30～	面接	
電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム	9：00～	面接	
地域環境科学プログラム	9：00～10：00	筆記試験	
	10：30～	面接	
建築学プログラム	9：00～10：30	筆記試験	
	11：00～	面接	

【注】遅刻による試験室への入室限度時刻は、筆記試験は試験開始後 20 分まで、面接は試験開始時刻までです。

③ 選抜方法等

提出書類（自己推薦書、調査書及び活動報告書）、面接で試問を行うとともにプログラムによっては基礎的な筆記試験を課します。

自己推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価します。

活動報告書では、卒業制作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を評価します。

面接は集団面接又は個人面接で行い、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解を評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する筆記試験又は試問も含みます。なお、知能情報システムプログラム、DX 人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、面接に先立って、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を行います。また、面接ではグループディスカッションは行いません。

各プログラムの内容は次表のとおりです。

学 科	プログラム	試験項目
理工学科	知能情報システムプログラム	面接と筆記試験
	DX 人材育成基盤プログラム	面接と筆記試験
	電気エネルギー・電子工学プログラム	面接
	機械工学プログラム	面接
	知能機械システムプログラム	面接
	地域環境科学プログラム	面接と筆記試験
	建築学プログラム	面接と筆記試験

配点は下記のとおりです。

自己推薦書	調査書	活動報告書	面接、筆記試験	合 計
50	50	150	250	500

3. 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

※本学の総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することはできません。

大学入学共通テストの利用科目名は、次のように略しています。

教科	教育課程
国語	『国語』 → 国
地理歴史※1	『地理総合、地理探究』 → 地総・地探 『歴史総合、日本史探究』 → 歴総・日探 『歴史総合、世界史探究』 → 歴総・世探 『地理総合／歴史総合／公共』 → 地総／歴総／公
公民※1	『公共、倫理』 → 公・倫 『公共、政治・経済』 → 公・政経 『地理総合／歴史総合／公共』 → 地総／歴総／公（再掲）
数学	『数学Ⅰ、数学A』 → 数Ⅰ・数A 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 → 数Ⅱ・数B・数C
理科※2 ※3 ※4	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 → 物基／化基／生基／地基（各出題範囲については「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」と記載） 『物理』 → 物 『化学』 → 化 『生物』 → 生 『地学』 → 地
外国語	『英語』 → 英 『ドイツ語』 → 独 『フランス語』 → 仏 『中国語』 → 中 『韓国語』 → 韓
情報	『情報Ⅰ』 → 情Ⅰ

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※2 「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指します。

※3 「基礎を付さない科目」とは、『物理』『化学』『生物』『地学』を指します。

※4 「同一名称を含む出題範囲・科目」とは、「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』を指します。

<教育学部>

① 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を令和8年(2026年)3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和7年(2025年)4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。)
- (2) 大学入学共通テストの本学が指定する教科・科目を受験する者
- (3) **合格した場合は、入学することを確約できる者**

② 試験日等

試験日：令和7年(2025年)11月22日(土)

コース	試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
初等中等教育コース	個人面接	9:00～	教育学部棟正面玄関前で8:30までに受付をして、面接控室に入室してください。 なお、教科の試験で「美術」を選択した受験者は、8:10までに持参作品2点(29ページ参照)を持って教育学部棟正面玄関前に集合してください。
	教科の試験	個人面接終了後	

【注1】試験時間中に昼食をとることがあるので、昼食を必ず試験場に持参してください。

【注2】遅刻による試験室への入室限度時刻は、個人面接は試験開始時刻まで、教科の試験は当日お知らせする試験の開始時間です。

③ 選抜方法等

「大学入学共通テスト」、「教科の試験」、「個人面接」及び提出書類を総合して選抜します。配点は以下のとおりです。

大学入学共通テスト	教科の試験	個人面接	合計
600 (200×3区分)	600	300	1500

(1) 大学入学共通テスト

以下の表のAからEの5つの区分から任意の3つを受験してください。4つ以上を受験した場合は、高得点の3つの成績を利用します。

区分	教科	科 目
A	国語	国
B	数学	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2
C	地理歴史 公民 情報	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経 情Ⅰ から2 ※1
D	理科 情報	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地 情Ⅰ から2 ※2
E	外国語	英、独、仏、中、韓から1 ※4

- ※1 「地理歴史」、「公民」において2科目を受験し、その科目が選択して解答することができない組合せ（「公・倫」と「公・政経」、又は「地総/歴総/公」と「地総/歴総/公」で選択解答したものと同一名称を含む科目の組合せ）であった場合は、「地理歴史」、「公民」の第1解答科目及び「情報Ⅰ」の合計得点を当該区分の成績とします。
- ※2 「理科」において「基礎を付した科目」と「基礎を付さない科目」の2科目を受験し、同一名称を含む出題範囲・科目の組み合わせであった場合は、「理科」の第1解答科目及び「情報Ⅰ」の合計得点を当該区分の成績とします。
- ※3 『「地理歴史」、「公民」及び「情報Ⅰ」』と『「理科」及び「情報Ⅰ」』を選択する場合、「情報Ⅰ」を重複して選択することはできません。
- ※4 「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。大学入学共通テスト「英語」はリーディング100点、リスニング100点、合計200点の配点となっていますが、教育学部ではリーディング160点、リスニング40点、合計200点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

（2）教科の試験

出願時に「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術」、「家庭」から1つを選択してください。試験では、当該教科の能力及び当該教科の教員としての適性などを評価します。

各教科の試験内容は29～31ページに記載しています。

（3）個人面接

複数の面接委員により、初等中等教育コースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。

（4）提出書類

出願時に調査書、自己推薦書、活動報告書を提出してください。提出書類は「教科の試験」及び「個人面接」の参考にします。

【注意事項】

- （1）「教科の試験」で選択した教科ごとに総合成績で合否判定をします。それぞれの教科において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。
- （2）大学入学共通テストの得点が著しく低い場合は、総合得点に関わらず不合格とします。
- （3）「教科の試験」又は「個人面接」の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- （4）本学では令和8年度（2026年度）の入学試験において、令和7年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

「教科の試験」の各教科の試験内容

【音楽】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では課題曲の演奏により、音楽の技能、表現力などを評価します。プレゼンテーションでは自己表現力、音楽科の教育への意欲などを評価します。

(1) 実技

以下の①、②の課題曲を演奏してください。試験室への楽譜（紙媒体）の持込みは可能です。

①モーツァルト又はベートーヴェンのピアノ・ソナタの第1楽章

任意に選んで、反復なしで演奏をしてください。ただし、次の曲は除きます。モーツァルトのピアノ・ソナタ KV 282、及びベートーヴェンのピアノ・ソナタ Op. 27-2、Op. 101、Op. 106、Op. 109、Op. 110、Op. 111。選択したピアノ・ソナタの作曲者、作品番号等は出願時に選択・入力してください。使用する楽譜の版は問いません。

②林古溪 作詞／成田為三 作曲《浜辺の歌》

ピアノで弾き歌いをしてください（1番のみ）。楽譜は、中学校（音楽）の教科書に掲載されているものを使用してください。

(2) プレゼンテーション

実技の課題曲について、どのような意図をもって演奏に取り組んだのかを説明してもらいます（5分程度）。説明の中でピアノ演奏をしたり歌ったりしても構いません。その後、説明内容や実技の演奏、提出書類などに基づく質疑応答を行います。

【美術】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では水彩による自由表現により発想力、基本的な造形能力、色彩表現能力を評価します。プレゼンテーションでは、創作意欲や学業に対する意欲、美術科の教育への意欲などを評価します。

(1) 実技

水彩による表現を行います。制作時間は90分です。

サイズ：B3の画用紙ボード（画用紙ボードは試験場で用意します）

持参用具：筆記用具、水彩用具一式（アクリル絵具も可）

※衣服が汚れないようにエプロン等を持参することをお勧めします。

(2) プレゼンテーション

持参作品*と、実技試験の作品及びその制作過程についてプレゼンテーションをしてもらいます。その後で、プレゼンテーションや提出書類に基づく質疑応答を行います（時間は、質疑応答を合わせて、1人当たり15分程度を目安としますが、受験者数によって変更する可能性があります）。

*持参作品について

・次の2点を試験当日、持参して提出してください。

1) 平面又は立体作品1点

2) デッサン1点（B3サイズ以上）

・1)、2)とも、中学校卒業以降に制作されたものとします。

・受験者本人が中学校卒業以降に制作したことを証明する作品証明書を作成し、作品の裏面・背面等に貼付してください（作品証明書の書式は出願時に大学ホームページからダウンロードしてください）。

- ・ 1)、2)とも、受験者が搬入出できるものとします（搬入口は高さ 200 cm×幅 170 cm）。なお、試験当日、持参作品の重さ、大きさ、風雨等の天候により所定の駐車場（42 ページ参照）から搬入口まで持ち運びが困難な場合は、事前に教育学部学務係（TEL097-554-7511）までお問い合わせください。
- ・ 持参作品は評価の参考とするため写真撮影等の記録を行い、プレゼンテーション終了後に返却します。

【保健体育】

プレゼンテーション及び実技により総合的に評価します。プレゼンテーションでは、スポーツや健康、教育への意識や理解度及び実践度などとともに、保健体育科の教育への意欲を評価します。実技では、陸上運動、器械運動、球技の基本的技能を評価します。

（１）プレゼンテーション

これまでの経験や活動等について説明をし、また、その場で与えた課題に対するプレゼンテーションを行います（プレゼンテーションにはパフォーマンスを含めても構いません）。さらに、教育や保健体育に関する今日的課題等に関する質問や、提出書類に基づく質問をします。

（２）実技（プレゼンテーションの後、当日の受験者数に応じて適宜、軽食時間又は休憩時間をはさんで実施します。）

個人種目と集団種目から１種目ずつ指定し、合計２種目で実施します（表１）。種目は試験当日指定します。

表１ 実技試験の種目

個人種目	陸上運動	どちらか１種目を指定
	器械運動	
集団種目	バレーボール	どちらか１種目を指定
	バスケットボール	

*持参するものについて

- ・ 実技は屋外（土のグラウンド）と屋内（体育館）で実施しますので、表２に示すものを各自で持参してください（忘れ物に対しては、貸与等の救済措置をしません。忘れ物がないように気を付けてください）。

表２ 実技試験のために受験者が各自で用意するもの

屋内用シューズ	バレーボールやバスケットボールの専用シューズも可
屋外用シューズ	陸上競技用シューズも可（スパイクは不可）
着替えなど	実技試験用のウェアなど運動時に必要な衣服、タオルなど
補水用の飲料	茶やミネラルウォーターの他、電解質入り飲料などは可
プロテクターなどの補助器具	鉄棒用のみ可（各自で必要な場合のみ）
テーピング	損傷部位の保護や予防として、処置を可とする（指、手首など）

*以上のほか、必要と思われる物は持参できます。ただし、物により、不許可になる場合があります。

- ・ 雨天時、陸上運動については、屋内で実施します。
- ・ 貴重品などは原則として個人で管理してください。

【技術】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では、技術科教育に関わる課題解決力と思考力・判断力・表現力等を評価します。プレゼンテーションでは他者へ伝える力やコミュニケーション力、技術科の教育への意欲を評価します。

(1) 実技

社会や生活に存在する技術的な課題解決や工夫・創造などに基づいた構想・設計に関する出題を行います。必要なものは、筆記用具（HB 又は B の黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り）です。また、受験票、計時機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机上に置かないでください。なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。

(2) プレゼンテーション

実技で解答した内容に基づいて発表を行った後、その内容について質疑応答を行います。また提出書類を参考にして、志望動機や技術科教育に対する意欲についても質疑応答を行います。

【家庭】

プレゼンテーションにより生活や家庭科への関心・意欲・理解、課題改善のために必要な思考力・判断力・表現力等を評価します。さらに、家庭科の教育への意欲についても評価します。

(1) プレゼンテーション

提出書類の「活動報告書」に記載した「中学校卒業以降、高等学校等で取り組んだ生活や家庭科に関する課題探究的な学習・活動の成果」の内容について、ポスター発表をしてもらいます。事前に作成したポスター*を試験当日に持参し、そのポスターを用いて5分間で発表してください。その後、発表内容や提出書類に基づいて質疑応答を行います。

*ポスターについて

- ・ポスターはA0（ゼロ）サイズ・1枚とします。書式は自由です。
- ・ポスターは個人面接の開始前に控室で預かります。
- ・発表内容に関わる成果物等があれば、当日持参し、プレゼンテーションに用いても構いません。
- ・ポスター等は、評価の参考とするため写真撮影等の記録を行い、プレゼンテーション終了後に返却します。

<福祉健康科学部>

① 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有すると
して文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和6年（2024
年）3月以降卒業した者及び令和8年（2026年）3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のた
め、令和7年（2025年）4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）
- (2) 大学入学共通テストの本学が指定する教科・科目を受験する者
- (3) **合格した場合は、入学することを確約できる者**
- (4) 次の要件を満たす者

【理学療法コース】

- (1) 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が**A段階**に属する者
- (2) 理学療法コースへの専攻の意思が強く、リハビリテーションに関する専門知識や技能を生か
し、社会に貢献したいという強い意思と適性を有する者
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者

【心理学コース】

- (1) 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が**A段階**に属する者
- (2) 心理学コースへの専攻の意思が強く、心理学に関する専門知識や技能を生かし、社会に貢献
したいという強い意思と適性を有する者
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者

② 試験日等

試験日：令和7年（2025年）11月19日（水）

コース	試験項目	試験時間	集合時刻及び集合場所
理学療法コース	小論文	9：00～10：00	教養教育棟第1大講義室前 の掲示を確認して、8：30まで に試験室に入室してください。
	個人面接	10：30～	
心理学コース	小論文	9：00～10：30	教養教育棟第1大講義室前 の掲示を確認して、8：30まで に試験室に入室してください。
	個人面接及び グループディスカッション	11：00～	

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、小論文は試験開始後20分、個人面接及びグループディス
カッションは試験開始時刻までです。

※昼食を試験場に持参してください。

③ 選抜方法

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等（小論文、面接）及び提出書類を総合して選抜します。

【理学療法コース】

（１）教科・科目に係る個別テスト等

小論文と個人面接を行います。小論文では、特に思考力、判断力、表現力と地域や現代社会への関心进行评估します。個人面接では、特に主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力、リーダーシップ进行评估します。調査書と自己推薦書は、参考資料として用います。

（２）大学入学共通テスト

知識・技能进行评估するために６教科８科目により行います。特に数学・理科の能力を高く評価します。

（３）配点

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
教科	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴 公民	理科	外国語	情報	小論文	個人 面接	合計
国	国	大学入学 共通テスト	100	100×2	50	100×2	200	50			800
数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2	教科・科目に 係る個別 テスト等							100	250	350
		計	100	200	50	200	200	50	100	250	1150
地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※										
理	物、化、生、地から2										
外	英、独、仏、中、韓から1										
情	情Ⅰ 〔6教科8科目〕										

※「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

【心理学コース】

(1) 教科・科目に係る個別テスト等

小論文、個人面接及びグループディスカッションを行います。小論文では、特に思考力、判断力、表現力と地域や現代社会への関心を評価します。個人面接及びグループディスカッションでは、特に主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力、リーダーシップを評価します。調査書と自己推薦書は、参考資料として用います。

(2) 大学入学共通テスト

知識・技能を評価するために6～7教科8科目により行います。全教科の能力を総合的に評価します。

(3) 配点

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
教科	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴 公民	理科	外国語	情報	小論文	個人 面接	グループディ スカッション	合計
国	国	大学入学 共通テスト	100	50×2	(50×2) (50)	①(50) ②(50×2)	100	20				470
数	数Ⅰ・数Ⅱと数Ⅲ・数Ⅳの2	教科・科目に 係る個別 テスト等							200	250	200	650
地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公・ 公・倫、公・政経 ①物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から1 ②物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から2 から1 又は2 ※1 ※2 ※3 ※4	計	100	100	100 50	50 100	100	20	200	250	200	1120
外	英、独、仏、中、韓から1											
情	情Ⅰ 〔6教科8科目又は7教科8科目〕											

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目から2教科を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※2 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

※3 「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないことになります。

※4 「地理歴史」及び「公民」の科目から2教科と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目

<補足説明>大学入学共通テスト（心理学コース）の配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経 ①物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から1 ※2 ②物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から2 ※3 ※1 「地理歴史」及び「公民」の科目から2教科を 選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合 せを選択することはできません。また、「地 総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答 した問題の出題範囲の科目と同一名称を含 む科目の組合せを選択することはできませ ん。 ※2「理科」の科目において、2科目受験した場合 は、第1解答科目の得点を合否判定に使用 します。 ※3「理科」において、同一名称を含む出題範囲・ 科目同士を選択していた場合、第1解答科 目の得点を合否判定に使用します。「地理 歴史」及び「公民」で1科目しか受験してい ない場合は、出願資格を満たさないことに なります。 ※4「地理歴史」及び「公民」の科目から2教科と 「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び 「公民」から1科目と「理科」から2科目	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、 理科を2科目受験した場合は 「地理歴史」及び 「公民」の第1解 答科目の得点 + 理科の第1 解答 科目の得点 + 「地理歴史」 及び「公民」 の第2 解答 科目の得点 高得点 のもの = 合否判 定に使用 する 得点

【注意事項（理学療法コース・心理学コース共通）】

- （1）大学入学共通テストの合計点（傾斜後の得点）が約50%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- （2）個人面接及びグループディスカッションの得点がそれぞれ20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- （3）同点者がいる場合は、大学入学共通テストの総得点の高得点者を高順位とします。
- （4）「英語」はリスニングを含みます。リーディングとリスニングの双方を受験してください（リスニングを免除された者は除く）。大学入学共通テスト「英語」は、リーディング100点、リスニング100点、合計200点の配点となっていますが、「英語」の成績は、リーディング160点とリスニング40点の合計200点満点とします。なお、入学者選抜の配点に当たっては、33～34ページの表に記載している大学入学共通テストの外国語の配点に換算します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。
- （5）本学では令和8年度（2026年度）の入学試験において、令和7年度（2025年度）以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

〈以下「総合型選抜Ⅰ」「総合型選抜Ⅱ」共通事項です。〉

4. 出願期間及び出願手続

総合型選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願です。

出願に当たっては、下記①～④の全ての手続が必要です。いずれか1つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間

総合型 選抜Ⅰ	経済学部 理工学部	令和7年（2025年）9月1日（月）～ 9月5日（金）17:00まで（必着）
総合型 選抜Ⅱ	福祉健康科学部	令和7年（2025年）10月6日（月）～ 10月10日（金）17:00まで（必着）
	教育学部	令和7年（2025年）11月4日（火）～ 11月7日（金）17:00まで（必着）

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは出願書類提出期間の1週間前から可能です（下記①～④）。

①インターネット出願システムにアクセス・入力・登録（一時保存可）

下記の URL からインターネット出願システムにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）なお、この URL は本学ホームページからもリンクしています。

インターネット出願システム <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。なお、スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、**一時保存する**ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。

スマートフォンを利用するなど印刷ができない場合は、画面上で十分確認してください。

※入学検定料の入金前であれば、登録内容の削除が可能です。

②入学検定料 17,000 円の支払い（別途払込手数料 990 円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続完了後は、登録内容の変更はできません。

③証明写真データのアップロード及び登録

④「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに出願書類送付

入学検定料の支払い及び証明写真データの登録完了後に印刷が可能となりますので、インターネット出願システムから **A4** サイズの普通紙に **カラー印刷** し、「宛名ラベル」を市販の角形 2 号封筒（240 mm×332 mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、上記 **出願書類提出期間中** に本学に到着するように「**速達書留**」で郵送してください。

ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、**出願書類提出期間最終日** に限り、**持参** を認めます。（受付時間は、9:00～17:00 まで）

【注】**出願書類提出期間後に到着した出願書類は受理しません**ので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

出願に必要な書類等

(1) 出願書類等(出願期間に間に合うよう準備をしてください。)

書 類 等 名		内 容 等	該当者
インターネット出願システムより登録・印刷	出願確認票 (提出用)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.1 出願確認票(提出用)」をA4サイズの普通紙にカラー印刷し、提出してください。	全 員
	(証明写真データの登録)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「写真の登録・確認」から、志願者本人の写真をアップロードし、登録してください。 ※写真は、100KB～5MBのjpg又はpngデータとし、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを登録してください(横に伸びたものなど、本人確認に適さない写真は登録しないでください)。	全 員
	宛名ラベル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.3 宛名ラベル」を印刷し、36ページの④のとおりに貼り付けてください。	全 員
志願者が各自で準備するもの	調 査 書	文部科学省所定の様式で、出身学校長等が令和7年(2025年)4月以降に作成し厳封したもの。	全 員
	推 薦 書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、出身学校長(指導教諭含む)等が作成し、厳封したもの。 なお、様式の記入要領を十分確認の上、作成してください。	全 員
	自己推薦書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、 志願者が自筆 で作成したもの。	全 員
	出願資格に関わる提出物	【英語資格に基づく選抜制度】 出願資格を証明できる書類のコピー(A4サイズ)を提出してください。 【簿記資格に基づく選抜制度】 出願資格を証明できる書類のコピー(A4サイズ)を提出してください。 本学ホームページより所定の様式「経済社会の諸問題について」をダウンロードして作成し、提出してください。 【課題探究型学習に基づく選抜制度】 課題探究型学習の成果(例えば、レポート、作品、グループ発表のプレゼンテーション用スライド等)について以下の書式で提出してください。ただし、成果が複数ある場合は、最も代表的な成果を1つ選んで提出してください。 (1) 上記の成果について、本学ホームページより所定の様式「課題探究型学習に関する調査書」(書式A)をダウンロードして必要事項を自筆で記入し、学校長等が証明してください。 (2) 上記の成果について、本学ホームページより所定の様式「課題探究型学習の成果について」(書式B)をダウンロードして作成し、提出してください。	経済学部
	活動報告書	高等学校等の内外で取り組んだことに関して、それによって得たこと、身についたこと、学んだこと等を評価します。具体的には、卒業制作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などについて、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、記入してください。記入に当たっては、活動等の内容がよく分かるようにし、その活動が団体である場合には、団体での自身の役割などが分かるようにしてください。	理工学部
	教科・科目単位 修得状況証明書 (総合学科卒業 見込み者のみ)	本学ホームページより所定の様式をダウンロードして作成し、出身学校長等が証明したもの。該当する「工業、機械、電気、環境、建築又は土木に関する教科・科目」における学習内容を示したシラバス(若しくは相当するもの)を添付してください。(不明な場合には、出願前に学生支援部入試課まで問い合わせをしてください。)	理工学部

	第1次選考 合否通知用 返信用封筒	市販の封筒（長形3号）に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、410 円分の切手を貼ってください。	経済学部
	令和8年度 大学入学共通テスト 成績請求情報の提供 （印刷不要）	本学では「Web 方式」を採用します。下記①～②の手続きを行ってください。 ①出願時の手続き 共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容確認」から「申込番号」を確認し、本学のインターネット出願システムに登録してください。 ②出願後の手続き 令和7年（2025年）12月11日（木）～12月19日（金）の期間に、本学のインターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「共通テスト成績請求登録」から以下の項目を入力して、登録してください。 ・共通テスト出願サイトの「ユーザ ID（メールアドレス）・パスワード」	教育学部 福祉健康科学部
	入学検定料 (17,000 円)	インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払いください。 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。 （ア）入学検定料を振込んだが出願しなかった場合（返還額：17,000 円） （イ）入学検定料を誤って二重に振込んだ場合（返還額：17,000 円） ※上記（ア）、（イ）に該当する場合は、39 ページ「（4）入学検定料の返還請求」を参照してください。 災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）へ連絡してください（40 ページ参照）。	全 員
その他	試験当日提出資料 （出願時に提出する必要はありません。試験当日に提出してください。）	「教科の試験」で提出する書類等は、29～31 ページを参照してください。	教育学部

（2）出願に際しての注意事項

- （ア）出願書類等に不備があるものは受付できません。
- （イ）出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- （ウ）記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- （エ）出願時に本学への出願資格として必要な高等学校等での修得科目等を修得予定の者（未修得者）は、入学時に修得の有無を確認し、未修得の場合は入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- （オ）改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。
- （カ）総合型選抜Ⅱの出願にあたっては、当該学部が指定する大学入学共通テストの教科・科目（教育学部は 27 ページ、福祉健康科学部は 33～34 ページ参照）を受験することを、必ず志願者本人が確認してください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果、当該学部が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となります。

（3）出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが出願しなかった場合、入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後直ちに、次の①～⑥を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成して、封筒(表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしたもの)に入れ、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・「入学検定料返還請求願」に記載する事項

①整理番号、②氏名(フリガナ)、③郵便番号及び住所、④連絡先電話番号、⑤入試区分、
⑥返還請求理由

・請求期限

総合型選抜Ⅰ	経済学部 理工学部	令和7年(2025年)10月17日(金)
総合型選抜Ⅱ	教育学部 福祉健康科学部	令和7年(2025年)12月12日(金)

・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

5. 受験票(受験番号確定メールの送信・受験票の印刷)

受験番号確定メールは以下の期間に送信します(経済学部を除く)。

メール受信後、インターネット出願システムから受験票を各自でA4サイズ普通紙にカラー印刷して**試験当日持参**してください。

・受験番号確定メール送信日

総合型選抜Ⅰ	理工学部	令和7年(2025年)9月12日(金)
総合型選抜Ⅱ	福祉健康科学部	令和7年(2025年)10月17日(金)
	教育学部	令和7年(2025年)11月14日(金)

なお、第1段階選抜を行う**経済学部**は、第1次選考結果到着後、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から第1次選考合格者自身でA4サイズ普通紙にカラー印刷して**第2次選考当日に持参**してください。

※メール送信日から3日経過しても受験番号確定メールが届かない場合は、速やかに大分大学学生支援部入試課に連絡してください。

6. 個人情報の取扱い

(1) 総合型選抜Ⅱでは、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

- (3) 一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

7. 障がいのある者等の事前相談

障がい有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

総合型選抜Ⅰ	経済学部 理工学部	令和7年（2025年）8月22日（金）17：00まで
総合型選抜Ⅱ	教育学部 福祉健康科学部	令和7年（2025年）10月24日（金）17：00まで

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。

申請期間経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

(2) 申出方法

本学ホームページより「令和8年度（2026年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

8. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮

災害に関する特別措置（入学検定料、入学料・授業料免除等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/0loshirase/important.html>）でお知らせします。

9. 受験に際しての注意事項

- (1) 22、24、27 及び 32 ページに記載している集合時刻までに集合場所に集合し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 試験中は、本学受験票を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、計時機能のみの時計（キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (5) 試験当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (6) 携帯電話等の電子機器類（以下、携帯電話等という）の使用について
- ・試験室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
 - ・試験時間中は、時計代わりに携帯電話等の計時機能を使用することはできません（机の上に置くこともできません）。
 - ・試験室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
 - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種に関わらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身に付けずに、かばん等にしまってください。

- ・アラームの解除方法が分からない人や電源の切り方が分からない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

10. 試験場

大分大学 ^{だんの はる} 旦野原 キャンパス

所在地 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

T E L 097-554-7471 (学生支援部入試課)

交通アクセス

＜ＪＲ利用＞ ○ ＪＲ豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約 15 分）、徒歩約 10 分

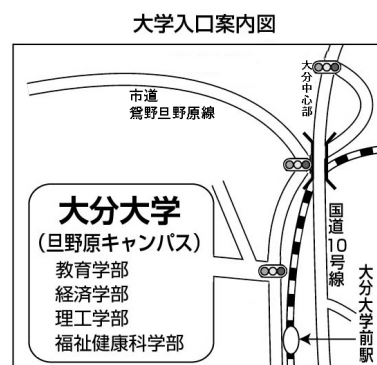
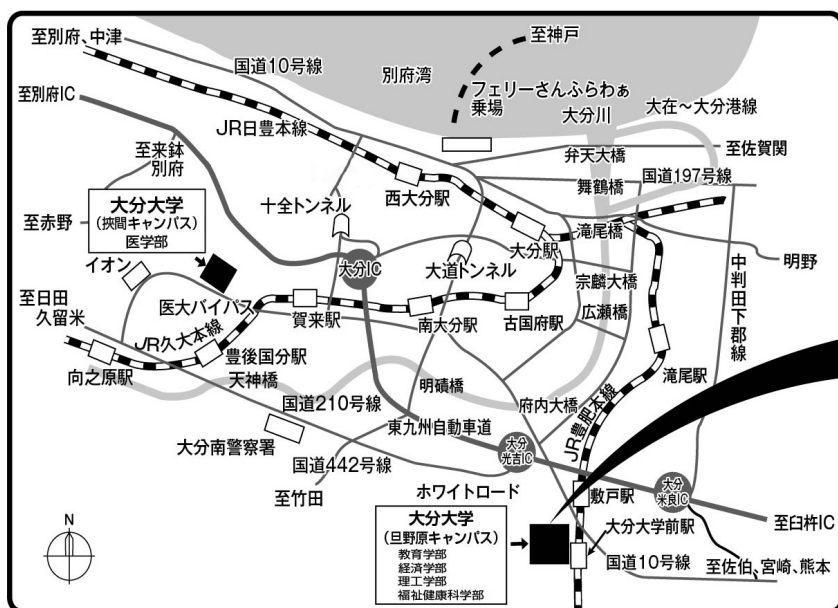
＜バス利用＞ 大分バス〔中央通り①のりば（トキハデパート前）〕又はＪＲ大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前 3 番又は 4 番のりば〕から

○「大南 団地（高江 ニュータウン）」行きを利用（約 40 分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

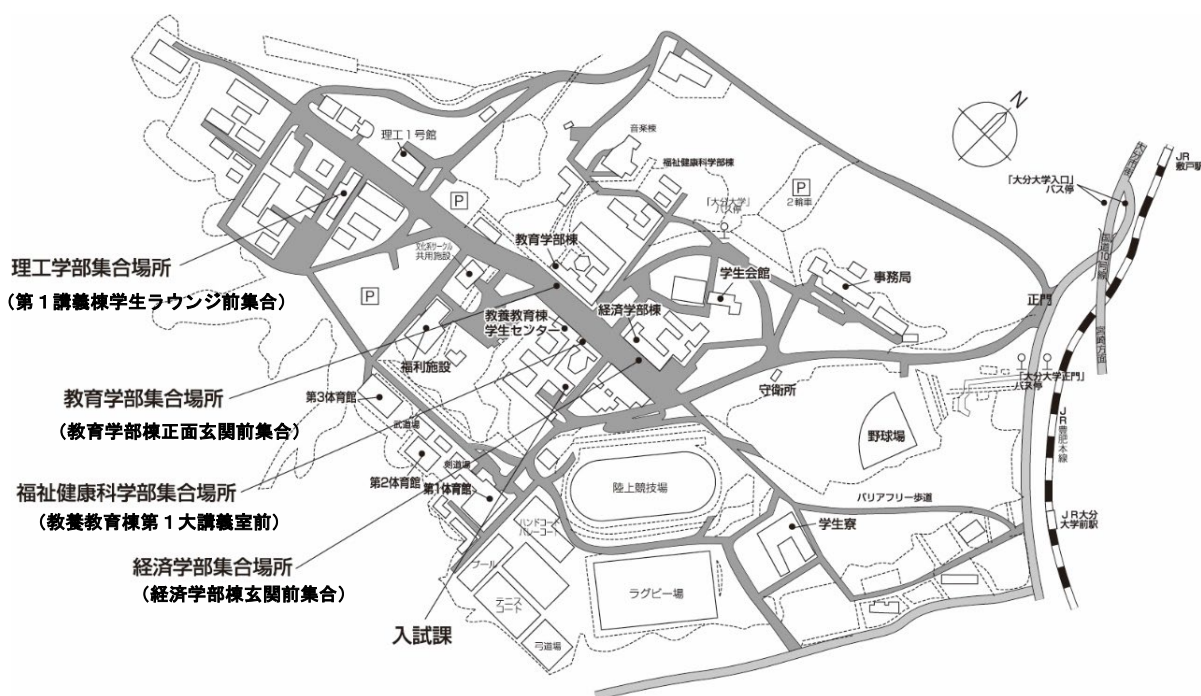
○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用（約 40 分）、「大分大学入口」下車、徒歩約 10 分

（詳細は時刻表で確認してください。）

○ 大分大学位置図



○ 旦野原キャンパス案内図



11. 不正行為の取扱い

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験項目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(ア) 出願確認票、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（出願確認票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入することなど。）をすること。

(イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

(ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

(エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

(オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

(カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

(キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（40ページ参照）が必要です。）

(ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

(ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。

- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (イ) 試験時間中に携帯電話等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 合格者発表

総合型選抜Ⅰ	経済学部 理工学部	令和7年（2025年）11月4日（火）10：00
総合型選抜Ⅱ	教育学部 福祉健康科学部	令和8年（2026年）2月10日（火）10：00

合格者は上記の日時に本学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載します。

また、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の可否通知等については、本学は責任を負いません。

13. 入学手続等

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

総合型 選抜Ⅰ 【注】	経済学部 理工学部	令和7年(2025年)11月25日(火)～11月28日(金)17:00まで(必着)
総合型 選抜Ⅱ	教育学部 福祉健康科学部	令和8年(2026年)2月12日(木)～2月18日(水)17:00まで(必着)

【注】合格者には、入学までの間、本学から高大接続学習課題を課します。この学習課題は、高校段階の学習履歴を基に、大学入学後の学習をスムーズに開始できることを目的として、合格者が意欲的に取り組むことを課せられたプログラムです。

※入学に必要な情報等の登録は「Web 入学手続システム」から行ってください。

※上記期間内に「入学料の納入」「Web 入学手続」「入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。

※総合型選抜Ⅱの合格者は、入学手続に大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」の提示が必要となります。

※やむを得ない事情により入学手続書類の郵送ができない場合に限り、当該書類の持参を認めることがあります。その場合、事前に、大分大学学生支援部入試課(TEL 097-554-7471)に連絡してください。

※総合型選抜合格者は出願要件にて「入学することを確約できる者」となっています。ただし、特別の事情により本学に入学できなくなった場合は、至急「総合型選抜入学辞退願」を大分大学長宛に提出してください。入学手続期間最終日までに許可された場合は入学を辞退することができます。

入学辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学(〔注〕独自日程で入学者選抜試験を行う国公立大学・学部を除く)・学部の入学許可は得られません。

入学手続期間最終日の17:00までに入学手続を完了しないときは、本学の総合型選抜合格者としての権利を消失します。

※総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜(前期日程)で補充することがあります。

【注】公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000 円

授業料 535,800 円(前期分 267,900 円 後期分 267,900 円)

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません。)の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください(入学料徴収猶予の手続きを行ってください)。3人以上の子どもを扶養する多子世帯で一定の条件を満たす者は、所得制限なく入学料が無償となりますので、該当すると思われる者は入学料は納付しないでください(入学料徴収猶予の手続きを行ってください)。

また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります(最大6か月)。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除、3人以上の子どもを扶養する多子世帯に該当する者は無償となります。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金（貸与奨学金ではありません。）の予約候補者、3人以上の子どもを扶養する多子世帯に該当する者又は入学料の徴収猶予を希望する者は入学料を払い込まずに入学手続期間に必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

14. 一般選抜への出願

総合型選抜志願者は、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つまでの国公立大学・学部に出願することができます。

15. 入学試験個人成績の開示

本学では、総合型選抜個人成績を、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。ただし、2段階選抜を実施するものについては、第2次選考試験の結果のみ開示します。

（1）開示請求の方法

インターネット出願システム上で、出願登録時に「入試成績の開示請求」の欄を「請求する」と選択してください。

※総合型選抜個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

（2）開示請求期間

総合型選抜Ⅰ	経済学部 理工学部	令和7年（2025年）8月25日（月）～9月5日（金）
総合型選抜Ⅱ	福祉健康科学部	令和7年（2025年）9月29日（月）～10月10日（金）
	教育学部	令和7年（2025年）10月28日（火）～11月7日（金）

（3）開示内容

・本学入学試験成績（総合型選抜）

合格者・不合格者（共通）	総得点及び科目ごとの得点、合格者（追加合格者を除く）の 最高点・最低点及び平均点。
--------------	--

※ただし、「最高点・最低点及び平均点」は、合格者が10名以内の場合は不開示とします。

（4）開示期間

令和8年（2026年）6月1日（月）～6月30日（火）

（5）開示の方法

オンライン上で開示します。開示期間中は専用サイトにログイン（※）の上、入学試験個人成績を確認できます。詳細は令和8年5月中旬ごろに本学ホームページに掲載します。

※ログインにあたり、「本学の受験番号」「生年月日」「パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）」が必要になります。

（6）手数料

1選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

（7）その他の注意事項

（ア）開示請求期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。

- (イ) 郵送、電話、メール及び本学入試課窓口での開示請求は受け付けません。
- (ウ) 既納の手数料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・入学検定料と手数料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ・入学検定料と手数料を誤って二重に払い込んだ場合

16. その他

不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 （出願登録期間の 9:00～20:00）	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 （平日の 9:00～17:00） E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

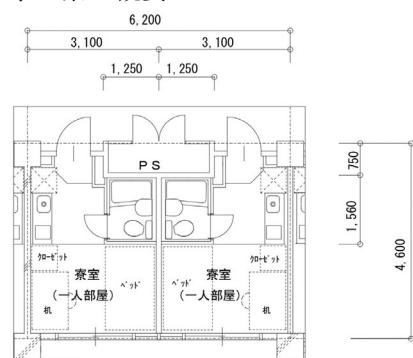
17. 大分大学学生寮のご案内（予告）

※内容は変更になる可能性があります。正式な募集内容については、本学ホームページへ掲載する募集要項をご覧ください。

学生の居住施設として、旦野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

《学生寮の概要》



（上図は2部屋を示します。）



←部屋の様子はこれから

対象学生	収容 人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290 人	290 室	1 人	鉄筋 5 階建

（バリア・フリータイプの居室、男女各 1 室を含む。（主に、肢体不自由のある学生用））

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12m²）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

《必要経費》

（金額は消費税率等により変更になる可能性があります。）

居室使用料 （維持管理費を含む）	水道料	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
22,000 円／月	2,000 円／月	2,037 円／月	26,400 円／入居時

・電気料は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

《入寮許可期間等》

■入寮許可期間：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

3年次編入学生…2年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

大学院生…標準修業年限（課程により2年間～4年間）

■募集人員：募集要項にてご確認ください。

《選考区分等》

区 分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・ 帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	1月中旬～2月上旬（入試出願期間と異なりますので注意してください。） ※詳しくは12月上旬に公開される入寮者募集要項にてご確認ください。	
結果通知	一般選抜（前期日程）合格発表翌日（予定）	一般選抜（後期日程）合格発表翌日（予定）

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

《入寮者募集要項の入手方法》 （募集要項公表予定：令和7年（2025年）12月上旬）

本学ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート）
右の二次元バーコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課課外活動係 TEL:097-554-7035 E-mail:gakuryo-m1@oita-ac.jp

